



共 成



昭島市立共成小学校
校長 森本 弘子
令和7年4月30日

学校ホームページ <http://www.city.akishima.ed.jp/~kyosei/>

「できるかな」の挑戦を「できた」という自信に

校長 森本 弘子

校庭は、遊んでいる子供たちの笑顔や元気な声であふれています。1年生も広い校庭デビューをしてジャングルジムや登り棒、おにごっこ、春の花探しなど思い思いに遊んでいます。

休み時間に校庭に出ると必ずといっていいほど、小さな、そしてすてきなドラマに出会います。

先日、3年生の子が「鉄棒で地球周りができるようになったから、見て下さい。」と嬉しそうに話しかけてきて、披露してくれました。近くにいた子たちもできる技を次々と披露していました。

そのとき、軽々と空中逆上がりやっている子を見ていたある子が、「いいな、ぼくにもできるかな。」と挑戦したのです。そして、見事に成功させました。回転して起き上がってきた瞬間のできた喜びと自信に満ちた笑顔は、最高に輝いていました。その最高の瞬間を一緒に味わうことができ、私も嬉しくなりました。

きっと毎日、校庭や教室など様々な場所で、多くの子供たちが「できた!」という小さな成功体験を味わっていることでしょう。この、「できるかな。」「やってみよう。」「できた!」が挑戦してよかったという成功体験となり、それを積み重ねながら子供たちはどんどん成長していきます。

私たち大人は、一人一人の成功体験が子供たちの自信となっていくよう、子供たちをよく見て、小さな成功体験を見付け、認め、褒めていきたいものです。



～リーダーシップ・フォロワーシップの向上を目指して～

木曜日の午後は、児童集会、委員会活動、なかよしタイム（縦割り班活動）、クラブ活動など子供たち主体の活動の時間になっています。



24日（木）の昼の時間には、各委員会の委員長の挨拶と委員会の紹介の集会でした。各委員長は、リーダーとして、一年間頑張るぞという頼もしい立派な挨拶ができました。ただ、どの委員会も委員長だけが頑張ってもうまいきません。リーダーを支える他のメンバーの支えと協力があってこそ、うまくいきます。

各委員会が目標を達成できるように委員長のリーダーシップを伸ばすと同時に、リーダーを支えるメンバーのフォロワーシップも大切に育てていきます。リーダーシップ・フォロワーシップがバランスよく発揮されることで、委員会や学校全体が向上していきます。

同じ日の6校時の時間には、各委員会の委員長が集まり、「共成会議」を行いました。各委員会の予定や今年度やってみたい企画を報告し合いました。その中から、複数の委員会がコラボレーションして新しい取組を行っていくことになりました。今後の活動に大いに期待します。

